

重点施策点検・評価表

1-1-1

基本目標	
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実
重点施策	
1	安全・安心で快適な学校生活のための教育環境の整備充実を図る
	担当課(館)
	① 長寿命化改修等による学校整備計画の推進
	教育総務課
活動内容	小中学校25校中、8割にあたる20校が建設後30年以上を経過し、学校施設の老朽化対策を早急に講じる必要があるため、平成31年3月に策定した「学校施設長寿命化計画」を基に、建築経過年数や構造体の健全度、統廃合の見込みなどを考慮し、長寿命化改修や大規模改修の対象を選定して、学校施設の整備を計画的に推進する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) <p>建築年の古い校舎の耐力度調査の実施により、躯体の健全性が示されたため、学校整備は「改築」から「長寿命化改修」へとシフトした。このため、大規模改修や部位改修を計画的に進めるための中期(5か年)整備計画を策定し、令和3年度から新型コロナウイルス感染症対策及び環境衛生改善のため、文部科学省の交付金を活用し、小中学校のトイレ洋式化工事を実施している。</p> <p>今年度は小中学校2校のトイレ洋式化工事を実施し、学校内の環境衛生改善が図られた。また、令和3年度に小中学校の普通教室及びランチルーム、中学校理科室にエアコンを設置を行ったが、今年度は小中学校5校の特別支援教室と未設置の通級教室にエアコンを設置し、猛暑における快適な学習環境の改善が図られた。</p>
課題等	<p>トイレ洋式化は、国の補正予算を活用し事業費を前倒しして5年度も引き続き実施することになった。加えて、市の木材利用推進計画に基づく木材利用や、ゼロカーボンシティや環境に配慮した整備を改修に組み込む必要がある。</p> <p>そのため、文部科学省をはじめ各種交付金・補助金を洗い出し、積極的な活用により子どもたちの教育環境の整備を進めていかなければならない。</p> <p>取組の方向性</p> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等意見	<p>令和3年度策定した「中期(5か年)整備計画」に基づき、着実に改修を実施している。特にエアコンの設置については、小中学校のほぼすべての教室に設置を終えるとともに、トイレの洋式化も75パーセントを目標として取り組みを進めていることは評価できる。</p> <p>木材利用やゼロカーボンシティなど、地域の特長を生かした整備を改修に組み込み、今後とも教育環境の整備充実を図っていただきたい。</p>

重点施策点検・評価表

1-1-2

基本目標	
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実
重点施策	
1	安全・安心で快適な学校生活のための教育環境の整備充実を図る
	担当課(館)
	② 学校の維持改修・修繕などの経年劣化対策実施による快適な学習環境の整備
	教育総務課
活動内容	施設や設備の改修・修繕が必要な箇所や、学校・PTA等から要望がある改修箇所は次年度の予算要求前に調査をし、小規模から中規模のものは改修内容の分類や必要経費を算出した上で、危険度などの優先順位を定めて計画的に工事を実施する。 大規模改修や年次計画による改修工事等を計画する場合は、国の交付金を活用して実施を検討する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 老朽化に伴う改修・修繕は、計画的な施工のほか、突発・緊急的な事故等にもすぐに対応し、学校運営に支障をきたさないよう適切に処置した。 しかし、次から次へと破損や故障が発生するため、即座に緊急度や優先順位を判断しながら限られた予算を最大限に活用し、対応した。また、8月の豪雨では学校施設への被害もあったため、復旧などの迅速な対応に努めた。
課題等	学校やPTA等からの要望は、老朽化が進む校舎や設備に対する改修がほとんどであり、年々増加する一方だが、教育活動を止めることのないよう緊急・突発的な修繕を優先せざるを得ないため、要望に対する改善が不十分である。 しかしながら、2年間で整備したエアコンの教室等への設置など、着実に進めてきたことで成果もみられることから、引き続き、実現可能な施策の情報収集と、あらゆる予算の確保に努めていく必要がある。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等意見	学校、PTA等の要望に応えながら、加えて緊急・突発的な要請にも迅速に対応していることを高く評価したい。 軽微な修繕については、PTAの協力をいただき、学校と連携しながら進めることも可能なのではないだろうか。学校施設の将来像を見据えながら、今後も学習環境の整備に尽力していただきたい。

基本目標		
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実	
重点施策		
1	安全・安心で快適な学校生活のための教育環境の整備充実を図る	担当課(館)
	③ 会計年度任用職員(校務主事等)の適正な人事管理	教育総務課
	活動内容	小中学校に配置している校務主事など、教育総務課で任用して給与の支払いやサービスに関して管理している会計年度任用職員は約50人を上回る。配置校によって勤務時間や勤務条件も多種多様で、中途退職者も多いことから、適正な人事管理により児童生徒の学校生活を支援し、より良い教育環境づくりを進める。
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 教育支援員や給食調理技師等に年度途中の退職者が数名発生したが、ハローワークを通じて随時補充し、学校運営や教育活動に支障をきたすことなく適正管理に努めた。 校務主事に対して実施する必要がある安全衛生講習会については、講師(事業者)を選定し、安全作業や保守管理について知識を吸収することができた。また、新型コロナウイルス感染状況を判断しながら年2回実施した。
	課題等	毎年実施している安全衛生講習会など、会計年度任用職員に対して必要がある教育については、状況をみながら実施していく。 今後もスキルの上昇につなげる教育の機会を確保し、安全・安心な教育環境づくりを進めていく必要がある。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等意見	校務主事等の会計年度任用職員の学校内における役割は大きなものがある。約50人を上回る職員の人事管理は心配りも必要とされると思うが、学校運営や教育活動に支障を来すことがなかったことは評価できる。 職務に係る講習会(研修会)等については、今後とも継続してほしい。

重点施策点検・評価表

1-2-1

基本目標	
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実
重点施策	
2	豊かな人間形成の場としての社会教育施設等の整備充実を図る
	担当課(館)
	① 文化施設(ほくしか鹿鳴ホール)の計画的整備更新と安全・安心の確保
	教育総務課
活動内容	舞台機構設備の一部(マニラロープ等)更新工事を実施し、舞台設備の計画的な更新を行うことで故障や事故を未然に防ぎ、文化・芸術活動の安全・安心な環境を確保する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)
	施設運営に必要な、舞台手動吊物(マニラロープ等)更新工事を実施し、計画どおり完成させた。 併せて、大ホール搬入口の電動シャッターの改修工事も行い、施設の改善に努めた。
課題等	<p>今後、建物の老朽化に伴い設備の更新が必要になり、計画的な更新計画を作成し、進めていく必要がある。また、設備の故障や更新には、施設管理者と連携しながら対応し、利用者の活動に支障をきたさないよう維持管理に努めていく。</p> <p>なお、今後大規模な更新改修工事等には多額の費用が必要となるため、補助金等の財源の確保が課題となる。</p>
	<p>取組の方向性</p> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等意見	予算的にも高額となる更新工事であったと思うが、予定どおり完成することで安全・安心な環境を確保できた。今後とも更新改修工事の実施に当たっては、施設管理者と連携を密にしながら対応していただきたい。

重点施策点検・評価表

1-2-2

基本目標	
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実
重点施策	
2	豊かな人間形成の場としての社会教育施設等の整備充実を図る
	担当課(館)
	② 社会教育施設の充実と安全性の確保
	教育総務課
活動内容	施設の冷暖房を賄うボイラー更新工事(中央公民館)を行い、地域コミュニティの核となる施設の良い環境を維持する。 経年劣化による故障や破損には応急処置などで対応しながら施設の機能維持を図り、速やかに必要な予算を確保して修繕や改修を行い、利用者の安心と安全確保を図る。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 中央公民館はボイラー更新工事を12月までに完成させ、施設の利用に支障をきたさないように運営できたほか、高圧気中負荷開閉器の更新工事も行い、地域コミュニティの核となる中央公民館の利用環境の向上と良好で安定的な施設整備に努めた。
課題等	建物の老朽化に伴い設備の故障が増えてきている。今後の設備の改修・整備の更新には、利用者の活動に支障をきたさないよう更新計画を作成し、進めていく必要がある。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等意見	地域の核として、広く市民に利用されている中央公民館は、ボイラー更新等の工事を降雪前に完成したことで、利用者の安全・安心を確保できた。 建物の老朽化により、さまざまな故障が増えることが予想されるが、今後とも予算等を確保しつつ修繕や改修を行っていただきたい。

重点施策点検・評価表

1-2-3

基本目標	
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実
重点施策	
2	豊かな人間形成の場としての社会教育施設等の整備充実を図る
	担当課(館)
	③ 社会教育施設の適正管理
	教育総務課
活動内容	施設の運営に直接影響を及ぼすキュービクル更新工事(北地区コミュニティセンター別館棟)や高圧気中開閉器更新工事(中央公民館)、屋根の防水性能維持のため屋根防水改修工事(田代公民館本郷分館・早口分館)や屋根葺替改修工事(二井田公民館麓西分館体育館)を実施する。また、外壁の防水機能を維持するため外壁改修工事(比内公民館東側)を行い、年間を通じて管理が必要な保守点検等を施設管理者と調整を図りながら進め、良好な施設運営と適正な施設管理を維持する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)
	当初から計画していた工事は予定どおり完成させることができた。また、施設運営に直接影響を及ぼす故障箇所については、工事を早期に施工した。設備の故障や不具合には、施設管理者と連携しながら速やかに対応し、利用者の活動に支障をきたさないよう維持管理に努めた。
課題等	<p>建物の老朽化に伴う修繕はもとより、設備の故障が多くなってきている。保有する50施設のうち約6割が築30年を超えてきている現状から、故障による施設利用の停止とならないように計画的な更新計画を作成し、進めていく必要がある。</p> <p>また、令和3年3月に策定した「大館市社会教育施設長寿命化計画」に基づき、施設所管課の生涯学習課と連携し、施設の集約化及び存続施設の改修について、計画的に実施するため整備計画を策定しなければならない。</p>
	<p>取組の方向性</p> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等意見	<p>大館市内の公民館の数は多く、その分、維持・管理は難しくなっていると思う。その中でも、北地区コミュニティセンターや田代公民館、比内公民館などの改修に着手し、予定どおり完成できたことは評価できる。</p> <p>将来的には、数多い公民館の統廃合等が話題となる時期が来るものと思われる。</p>

重点施策点検・評価表

1-3-1

基本目標	
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実
重点施策	
3	大館の教育の理念と実践について、市民への周知と全国への発信に努める
	担当課(館)
	① 教育委員会施策の情報発信の強化
	教育総務課
活動内容	<p>毎月開催する教育委員会会議では、実施する施策やその進捗状況などを的確に報告し、協議や討議内容を議事録にまとめてホームページ等で公表する。</p> <p>教育委員会事務事業の点検・評価表や総合教育会議の議事録など、教育委員会の活動内容を市民をはじめ全国に発信し、取り組みを進めている教育の産業化構想やおおだて型教育の周知を図るとともに、大館で学ぶ移住・交流人口の拡大に努める。</p> <p>教育委員会活動の透明性を図るため、ホームページや定例記者会見、報道機関などを活用し、情報発信をより積極的に行う。</p>
点検評価	<p><input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%)</p> <p><input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%)</p> <p><input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)</p> <p>教育委員会会議及び総合教育会議や、教育委員会事務事業の点検・評価の結果を市ホームページで公表し、大館の教育が取り組む活動状況への理解を深めていただくとともに、教育委員会が進めた政策の透明化を図った。</p>
課題等	<p>大館の教育の理念と実践結果を全国に情報発信する手段として、主に市ホームページを活用しているが、日常生活の中における情報発信媒体の多様化に伴い、SNS(ソーシャルネットワークワーキングサービス)等のアプリケーションサービスを活用した発信手段の検討を進めていく必要がある。</p> <p>取組の方向性</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止検討</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度</p>
学識経験者等意見	<p>大館市の教育については、各種メディアで紹介されるなど、注目を浴びている。教育委員会として、それらの活動を広く市民等に知っていただくことは、教育効果を高める上で大切な取り組みの一つである。</p> <p>ホームページ等を中心とした情報発信となるが、伝えたい対象によっては、紙ベースの良さもあることから総合的に判断し、より効果的なメディアを活用していただきたい。</p>

重点施策点検・評価表

1-3-2

基本目標		
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実	
重点施策		
3	大館の教育の理念と実践について、市民への周知と全国への発信に努める	担当課(館)
	② 東北都市教育長協議会役員会・定期総会開催時における「おおだて型授業」の発信	教育総務課
	<p>活動内容</p> <p>東北都市の教育長が集う「東北都市教育長協議会」の役員会及び総会(4年4月)が45年ぶりに本市で開催される。有浦小学校・東中学校の授業を視察する予定としているため、おおだて型授業(響学)を具現化する絶好の機会と捉え、全国に情報を発信する。</p>	
	<p>点検評価</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) </p> <p>4月21日は東北都市教育長協議会の役員会、22日は定期総会及び研修会が本市で開催された。 新型コロナウイルス感染症の影響により開催が危ぶまれたが、無事開催され東北各地の教育長をはじめ教育関係者ら49人の方々に参加された。 初日は役員会のほか、下川沿中学校の生徒20人による伝統芸能「川口獅子踊り」の演舞を観覧していただいたほか、有浦小学校と東中学校の授業視察も行われ、本市の「おおだて型授業(響学)」による共感的共働的学び合いや対話的学び合いを発信でき、参加者からは非常に高い評価をいただいた。</p>	
	<p>課題等</p> <p>今回の「東北都市教育長協議会の定期総会及び研修会」の成功を踏まえて、令和5年7月6日と7日の両日、「東北市町村教育委員会連合会定期総会及び教育委員・教育長研修会」が本市で開催されることが決定している。 本市での開催は初となるが、万全の体制で東北各市町村の教育委員・教育長をお迎えし、初日には市内小中学校全25校で行われる授業視察で、ふるさとキャリア教育に取り組んできた11年の成果について理解を深めてもらい、東北各地に「おおだて型授業(響学)」を発信していく。</p>	<p>取組の方向性</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </p>
	<p>学識経験者等意見</p> <p>このように大きな協議会・総会が大館市で開催されたことは、学校をはじめ教育関係者の努力の成果と考える。令和4年度に引き続き、より規模を拡大させて令和5年度も開催される。 大館の教育を全国に発信することによって、教育ツーリズムにつながることも期待できる。また、地元大館市民にも大館の教育のよさを実感できるよう、情報発信に努めていただきたい。</p>	